

小学校外国語科学習指導案

津市立南立誠小学校 第6学年

- 1 単元名 Listen to My Dream !
 教材名 「My Future, My Dream」 (NEW HORIZON Elementary 6 Unit 8)

2 単元目標

自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて、その概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<知識> 【I want to join ～. I want to enjoy ～. I'm good at ～. I want to be ～. およびその関連語句など】について、理解している。 <技能> 中学校生活や将来の夢などについて、【同上】を用いて、話す技能を身に付けている。	相手に自分のことを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、工夫をして話している。	相手に自分のことを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、工夫をして話そうとしている。
書くこと	<知識> I want to join ～. I want to enjoy ～. I'm good at ～. I want to be ～. およびその関連語句などについて、理解している。 <技能> 中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に書く技能を身に付けている。	自分のことを伝えたりするために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に書いている。	自分のことを伝えたりするために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に書こうとしている。

4 単元設定の理由

(1) 単元について

2学期より、総合的な学習の時間において、キャリア教育を進めてきた。児童は、自分たちの将来を描いたドリームマップの作成を通して、夢を語ることの素晴らしさを知ることができた。本単元は、ドリームマップで学んだことと関連させながら進めていく。単元名は「Listen to My Dream!」とした。

本単元の最終目標は、「夢宣言」で将来の夢を伝え合うことである。ドリームマップと関連させて、将来の夢や、目指したい生き方を語る機会としたい。また、将来の夢への中間地点として、目の前に近づいている中学校生活についても考えさせたい。中学校で何をしたいのかイメージを持たせ、それらを英語で表現させたい。

「夢宣言」は、小学校外国語科の総まとめとしての役割を担っていると考えられる。これまで学んだ語句や表現を使ったり、コミュニケーションのポイントを意識したりしながら、取り組ませていく。そして、「夢宣言」をすることで、ドリームマップでの学びをさらに深め、堂々と中学校へ進んでいく姿を期待したい。

(2) 児童について

本冊子には掲載していません。

(3) 指導について

本単元では、自分の思いや考えがより友だちに伝わりやすい夢宣言をすることを大きな目標に、教師と児童、児童と児童がつながり、高め合いながら毎時間の授業に取り組んでいきたい。

第1時では、授業者によるモデルを見せたり、単元の流れや語句、最終目標を見通すことができるワークシートを配布したりする中で、単元終わりで行う夢宣言を児童に具体的にイメージさせたい。夢宣言に用いる英文は、NEW HORIZON Elementary 6 p.76にあるものを基本とし、以下のようにする。英文は、聞いたり話したりして音声に十分慣れ親しんだ後、毎時間少しずつワークシートに書き溜めていき、夢宣言までに完成するようにしていく。

Hello, everyone.

I want to join the ~. (入りたい部活動)

I want to enjoy ~. (楽しみたい行事)

I am good at ~. (得意なこと)

I want to be a ~. (就きたい職業) / I want to ~. (目指したい生き方)

(This is my future dream.)

Thank you for listening.

第2時、第3時では、将来の夢、したいこと、その理由などについて、教科書に掲載されている活動を活用して、音声から慣れ親しんでいく。ここでの英文が夢宣言の軸となるので、丁寧に押さえたい。

第4時では、夢宣言に向けてグループでスピーチの練習や交流を行う。観点は、「発表の内容」と「発表の伝え方」とする。ここでは、スピーチの評価基準を児童に示し共有する。

	発表 (内容)	発表 (伝え方)	
		声、スムーズさ	目線、ジェスチャー
S	言いたいことを整理して情報を加え、正しい語順で相手に伝えることができる	内容を意識して、みんなに聞こえる声でスムーズに発表することができる	相手の様子を見ながら身振り手振りの工夫をして発表することができる
A	言いたいことを整理して、正しい語順で相手に伝えることができる	内容を意識して、みんなに聞こえる声で発表することができる	相手を見ながら発表することができる
B	言いたいことを整理して、相手に伝えることができる	間違えたところは言い直しをして、最後まで発表することができる	原稿を見ながらも、相手を見て発表することができる。
C	言いたいことが整理できていない	最後まで発表することができない	相手を見ずに発表している

交流の中ですべての児童が主体的に取り組めるよう、新たな英文を付け足す、間違えずに言い切る、相手を見ながら発表する、などそれぞれ自分に合った目標をもって取り組ませ、一人ひとりが「英語でコミュニケーションをとれた」という達成感を味わえるようにしたい。

第5時では、これまでワークシートに書き溜めてきた英文を、一枚のスピーチ原稿へ書き写す。丁寧に、語と語の区切りを意識しながら、正しく書かせたい。

第6時では夢宣言に向けて、スピーチの評価基準の「声、スムーズさ」を意識して、ペアでスピーチの練習や交流を行う。ここでは児童が主体的に取り組めるよう、タブレット端末でスピーチの動画を撮影し、自分の課題を見つけ、練習や交流をする中で改善させたい。また、内容についても改善し、改善した内容をもとに、原稿を丁寧に正しく書かせたい。

第7時では夢宣言に向けて、スピーチの評価基準の「目線、ジェスチャー」を意識して、ペアでスピーチの練習や交流を行う。第六時同様に、児童が主体的に取り組めるよう、タブレット端末でスピーチの動画を撮影し、自分の課題を見つけ、練習や交流をする中で改善させたい。

第8時では、いよいよ「夢宣言」としてスピーチをする。評価基準を確認し、自分の思いや考えを伝えられるようにしたい。そして小学校生活最後の外国語でのスピーチであることから、本單元だけではなく、これまでのスピーチの練習で培ってきた力を十分に発揮してくれることを願う。

5 CAN-DO リストと本単元の対応

	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
6年生の到達目標	世界の国や人々と比較しながら、日常生活や身近な事柄について、伝え合うやり取りを聞いて、概要を理解することができる。	日常生活や身近な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味を理解することができる。	世界の国や人々と比較しながら、日常生活や身近な事柄について、その場で簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国や人々と比較しながら、日常生活や身近な事柄について、相手に伝える等の目的をもって、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 郷土津市について、TSU-CHANTを参考にしながら、他者に向かって友達と紹介することができる。 	日常生活や身近な事柄について、語順を意識しながら、相手に伝える等の目的をもって、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ基本的な語句や表現を選んで、書き写すことができる。
Unit 8	中学校生活や将来の夢についてのやり取りを聞いて、内容を理解することができる。	/	中学校でしてみたいことや将来の夢について、たずねたり伝えたりすることができる。	中学校生活や将来について考え、夢を発表することができる。	中学校でしてみたいことや将来の夢について、例文を参考にして文を書くことができる。

※太線は、記録に残す評価

6 単元指導計画（全8時間）

時	◆目標 ○主な活動 【誌面化されている活動】	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準 〈評価方法〉 ◎は記録に残す評価
1	<p>◆単元の流れと最終目標を知り、将来の夢を表す表現を聞いたり言ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートから、単元の流れと最終目標を知る。 【Let's sing】 ○Small Talk ○【Starting out】 【Let's Try①】 ○【Let's Read and Write①】 ○【Let's Read and Write②】 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>

2	<p>◆中学校で楽しみたい行事やその理由について、聞いたり言ったりする。</p> <p>【Let's sing】 <input type="radio"/> Small Talk <input type="radio"/> 【Let's Listen①】 <input type="radio"/> 【Let's Try②】 <input type="radio"/> 【Let's Read and Write③】</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
3	<p>◆将来就きたい職業やしたいこととその理由について、聞いたり言ったりする。</p> <p>【Let's sing】 <input type="radio"/> Small Talk <input type="radio"/> 【Let's Listen②】 <input type="radio"/> 【Let's Try③】 <input type="radio"/> 【Let's Read and Write④】</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
4	<p>◆相手により伝わりやすい「夢宣言」にするため、内容を改善する。</p> <p>【Let's sing】 <input type="radio"/> Small Talk <input type="radio"/> グループ学習 ①友だちと良い点や質問を伝え合う。 ②夢宣言の文の順番を入れ替えたり、英文を付け足したりして工夫する。 <input type="radio"/> グループ活動を通して学べたことを交流する。</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
5	<p>◆「夢宣言」の文を正しく書き写すことができる。</p> <p>【Let's sing】 <input type="radio"/> Small Talk <input type="radio"/> これまでに書いてきた文を参考に、ワークシートへ書く。</p>	<p>書</p> <p>〔「書くこと」の記録に残す評価〕 ◎中学校生活や将来の夢などについて英文の語順などを理解している。中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に書く技能を身に付けている。〈ワークシート記述分析〉 ・児童が書いたワークシートの記述を分析し、評価の記録を残す。</p>
6	<p>◆「夢宣言」で自分の考えがより伝わるようスピーチの内容を改善し、丁寧に正しく原稿を書くことができる。</p> <p>声の大きさやスムーズさを意識して、より友達に伝わるスピーチができる。</p>	

	<p>【Let's sing】</p> <p>○Small Talk</p> <p>○ペア活動</p> <p>①友だちと良い点や改善できる点を伝え合う。</p> <p>②「声・スムーズさ」の観点でスピーチの改善をする。</p> <p>○ペア活動を通して学べたことをもとに、文の入れ替えや英文の付け直しを行う。</p>			書 書	<p>〔「書くこと」の記録に残す評価〕</p> <p>◎自分のことを伝えたりするために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に書いている。〈ワークシート記述分析〉</p> <p>◎自分のことを伝えたりするために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に書こうとしている。〈ワークシート記述分析〉</p> <p>・児童が書いたワークシートの記述を分析し、評価の記録を残す。</p>
7	◆目線やジェスチャーを意識して、より友だちに伝わるスピーチができる。				
	<p>【Let's sing】</p> <p>○Small Talk</p> <p>○ペア活動</p> <p>①友だちと良い点や改善できる点を伝え合う。</p> <p>②「目線・ジェスチャー」の観点でスピーチの改善をする。</p> <p>○ペア活動を通して学んだことをもとに、より分かりやすく伝わるように工夫する。</p>			発	<p>〔「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価〕</p> <p>◎相手に自分のことを伝えるために、声の大きさや話す速さなどに気をつけたり、ジェスチャーを使ったりするなど、工夫をして話そうとしている。〈行動観察〉</p> <p>・児童が自分のことを話している様子を見取り、評価の記録を残す。</p>

12分	<p>・ Small Talk</p>	<p>・ 指導者がスピーチをし、適宜数名の児童に発問を投げかける。</p> <div data-bbox="274 286 1410 1115" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>HRT: I like sports..</p> <p>Do you like sports? Raise your hands.</p> <p>(手を挙げた子に対して) What sport do you like?</p> <p>Soccer? Volleyball? Running? What sport do you like?</p> <p>S1: Soccer!</p> <p>HRT: Oh, you like soccer. I like soccer, too. Soccer is exciting!</p> <p>But, soccer is not my No.1 sport.</p> <p>I like……Volleyball! I like volleyball very much. Volleyball is exciting, too.</p> <p>Do you like volleyball?</p> <p>I want to play volleyball in the near future.</p> <p>I want to be a good attacker!</p> <p>I want to play volleyball with my friends in the near future.</p> <p>What is your dream? What do you want to do in the future?</p> <p>I want to play volleyball. What do you want to do in the future?</p> <p>Anything is OK. I want to go to Tokyo. I want to read many comic books.</p> <p>Let's talk. Let's ask your friends. What do you want to do in the future?</p> <p>Please stand up and make pairs. Let's start.</p> </div> <p>①ペア活動 1 回目</p> <p>②中間交流</p> <p>③ペア活動 2 回目</p> <p>④ペア活動 3 回目</p>
25分	<p>・ Activity</p> <p>①Today's Goal</p> <div data-bbox="363 1541 1273 1603" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目線やジェスチャーを意識して、より友だちに伝わるスピーチができる。</p> </div> <p>②改善の視点をペアで交流</p> <p>③ペア活動 1 回目</p>	<p>・ HRT は、机間指導をし、適宜声かけをする。</p> <p>・ 言いたかったが言えなかったことなどを尋ねる。</p> <p>・ 児童にどのように表現すればよいかを考えるように言う。</p> <p>・ ペアの交代をするように言う。</p> <p>・ 前時に児童一人一人が考えた、本時に取り組む改善の視点を全体で交流する。</p> <p>・ ペアで改善の視点を交流し、相手が本時で何を改善したいのかを理解するように言う。</p> <p>・ ペア活動の進め方を再度確認させる。</p>

	<p>④中間交流</p> <p>⑤ペア活動2回目</p> <p>⑥伝え方の工夫</p>	<p>(1)タブレットでスピーチの動画撮影をする。 (2)良かった点と工夫できる点について話し合う。 ※分析表や原稿に気づきを残しておくといいね! (3)工夫できる点を意識して、ペアに向かってスピーチをする。 (4)より伝わりやすくなったか話し合う。 (5)ペアで役割の交代をする(①へ戻る) ☆時間の許す限り何度も繰り返す。</p> <p>・代表者にスピーチをさせる。 ・目線やジェスチャーについて、どういったとことが良いのかを考えるように言う。</p> <p>・中間交流で見つけた良い点を意識させて練習をするように言う。</p> <p>・友だちにより自分の思いを伝えるためには、何が大切かを考えさせる。 ◎相手に自分のことを伝えるために、声の大きさや話す速さなどに気をつけたり、ジェスチャーを使ったりするなど、工夫をして話そうとしている。〈行動観察〉</p>
5分	<p>・ふり返り</p> <p>①ふり返りカードを書く</p> <p>②ふり返りの交流</p>	<p>[ふり返りの視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったこと ・友だちとの関わりによる変化 ・疑問 <p>・数名の児童を指名し、スピーチの変化を全体で交流する。</p>
	<p>・挨拶をする。</p>	

8 板書計画

